

活動目的

- 世の中のシニアの健康を増進するため、まずは自健保のシニアに対し効果的な健康施策を立案・実施し、ヘルスリテラシーが高く、心身共に健康なシニアとして地域保険へ送り出すことで、高齢者の医療費を適正化し、ひいては納付金等が健保財政に与える影響を最小限に抑えることに資する。

活動テーマ

- 2019年度策定の「シニアの保健事業モデル」をトライアル実施し、できれば効果検証まで実施する。
- 被用者保険からは手の届きにくい「シニア被扶養者」を対象とした健康増進策について、地域保健の担い手である地方自治体や医師会、歯科医師会、大学等との連携・協力を視野に入れて研究し、より効果的な施策を立案する。（例：花王健保コンソーシアムモデルの深耕と拡大）

成果物

- ✓ 特に「シニア被扶養者」を対象とした「シニアの保健事業モデル」が立案（居住地自治体等との提携・協力策を含む）、実施、検証がなされている。